

東京山桜会 第52回総会

佐伯 文子(大中・高19期)

平成21年5月23日(土)、東京会館の東商スカイルームに於いて行われました。

52名参加され、紳士淑女達でさわやかに和気あい合いと楽しく会が、とり行われました。今年は世界中が、新型インフルエンザ大流行で、日本にもやってきて学校や社会で、感染を防ぐ対策に、消毒液やマスクが売り切れになったりたいへんな騒ぎになっています。追手門学院の先生方で、安全の為、遠出をひかえられた方が5人いらっしゃいました。とても残念ですがおわび状をいただきました。それでも大阪から14名おこし頂きありがとうございます。感謝しております。『新型インフルエンザなんか本当にはやっているの?』と、思えるような元気な皆様方で健康そのものの皆様方で、私達も安心しました。明るかったです。

追手門学院理事長 大木令司氏、常務理事 中嶋昌彌氏、山桜会会長川原俊明氏の各々の追手門学院の近況をお聞きし、『追手門学院創立121年目になり、すべて原点にもどりベクトルを定める。そして教育の原点と整備をする。』とのことでした。とても感心し、シャキッとひきしまり衿を正しました。皆様ますます素晴らしい発展ができますよう願われて聞きいておられました。今年4月21日の産経新聞夕刊に『幻の明治記念標』(上町に学ぶ古都おおさか再生)大木令司氏の文面がプリントされたのを皆様よまれ、そして説明に聞きいておられました。明治記念標は、明治10年(1877年)の西南戦争の戦没者を追悼する慰霊塔で、博交社(のちに大阪偕行社と改称)が中心となって寄付を募り明治16年(1883年)に中央公会堂のある場所に建立されたが、その他に中央公会堂が岩本栄之助氏の寄贈で建てられることになり明治35年大手前的大阪偕行社に移転され、昭和18年に国家総動員法による金属類回収令で撤去されるまで、大手前のランドマーク的存在だった。高さ約20mの巨大塔である。大阪百景の写真で、明治末～大正初め頃の明治記念標の絵はがきで洋風で金属製のモダンな記念塔だった。はがきは、追手門学院所蔵である。『パリのコンコルド広場のオペリクスみたいなのが、追手門の正門にそびえ立ってたんや。』今ではほとんど知っている人はいないが、大先輩の萩原正民氏(昭和17年3月卒・偕行社学院小53期)『ワシ、何かあったの憶えてるよ。確かにあったよ。』今では幻だが、パリの人も卒業生もビックリです。追手門学院小学校の校長室に記念標を描いた2枚の絵が残されており、1枚は辻愛造4号の油絵で記念標の後ろに偕行社のモダンな建物がカラフルに描かれている。もう1枚は、同小学校大正5年(1916年)卒の新作義信氏の水彩画で、小学生らしからぬ堂々たる絵で、記念標周辺の公園風のたたずまいが描かれている。とにかく昭和18年までは、20mのが正門にあったのである。皆様おどろいていらっしゃいました。そして学士院賞受賞記念の竜田邦明氏(早稲田大学理工学術院教授)の講演がありました。糖質を用いる多様な天然生理生活物質の全合成と創薬研究について簡単にわかりやすく説明してくださいました。93種類もの天然化合物を、一から作り上げてみせたこと、ブドウ糖など最小単位の原料から

天然化合物を合成することを「全合成」とよび93のうち86種類は、世界初の全合成でしたことで受賞されました。全合成の実現は、薬を工業的に大量生産する道を開くだけでなく天然化合物がなぜ効くのか理解するための礎となります。4大抗生物質群とよばれる天然化合物の全合成をいずれも世界で初めて成し遂げている。『ドクター全合成』と学界は称賛を込めて呼んでいる。一つの天然細胞から200万通り合成する。竜田氏は、私達にCとHの化学図式をきれいにわかりやすく白板上にマジックでかかれ構成をかえるとまったくちがうものになることをとられました。『ガンになる要因のものをまったくちがったものに変えてしまい他の物になるとガンではなくなる。』とのこと。すべては全合成から始まる。全合成で天然化合物の理解が深まると、一部を改変してより効果の高い薬を生み出す道も開かれる。糖尿病薬や抗がん剤、歯周病検出薬など多彩な薬剤開発に应用されている。『二兎追うもの一兎も得ず。』ということわざがあるが、一兎追うもの二兎も三兎も得る。』とのこと。日々研究の成果だと感心してきていました。『人工の化学物質はいろいろあるが、薬の効き方では天然化合物に勝てない。何より効く仕組みが単純明快。くどくない。』とのこと。竜田氏は、大学4年生までは与えられたエサがとれる人。修士・博士は、エサを自分でとれる人。社会人は人と語れる人。学んだ人がえらぶ。そして食文化が一番大事であること。そして世界を意識しながら行動すること。すなわち国際化であり、国際的人間になることである。そして知恵を自分のものにするなど大事なことをお話されました。美術鑑賞もされとのことでした。今年の秋の早慶戦は、阪神の甲子園球場で行われます。53年ぶりだそうです。すごくにぎわうことでしょう。最近電車の中でシルバー席の近くで携帯電話を切らずやたらと話しをして使っている人がふえて目にしますが、マナーを守ってほしいものです。大阪に帰った時、特に実感しました。一般の人で年をとった方がしかも多いのに驚きました。東京もいますが多いです。心臓のペースメーカーを付けた方も多いので東京も大阪も守って頂きたいです。マナーは大事です。最近痛感しています。偕行社、追手門学院は、礼儀作法、マナーがよく有名です。私は、そこで学んだことが誇りです。『あなた達、どこの学校?』『ハイ、追手門学院です。』『そうお行儀いいね。』よく電車の中でほめられました。私は、このよい伝統は、大阪の誇りだと思っています。

皆様話しに盛り上がり話しに花を咲かせ笑いがたえない会でした。食事もおいしく名物のオムレツもいただき舌鼓しました。新型インフルエンザ秋、冬に大流行らしいですが、皆様手あたりとうがい励行し健康でやりぬきましょう。

